

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語Ⅲ A
科目基礎情報					
科目番号	43001	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学科	対象学年	3		
開設期	前期	週時間数	1		
教科書/教材	「精選現代文B 改訂版」(三省堂)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)				
担当教員	薄井 信治				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 文章と要点を理解でき、短い説明文が書ける。(定期試験) 常用漢字の読み書きができる。(小テスト) 小論文を指定の形式で書ける。「4行読書感想カード」が書ける。(レポート) 問題の考え方や解き方が身につく。(定期試験、口頭試問、小テスト、レポート) 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	口頭試問に9割以上正答できる。	口頭試問に8割以上正答できる。	口頭試問に7割以上正答できる。	口頭試問に5割しか正答できない。	
評価項目2	演習問題を8割以上正答できる。	演習問題を7割以上正答できる。	演習問題を6割以上正答できる。	演習問題を5割しか正答できない。	
評価項目3	小論文を指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。	小論文を指定の形式と字数で書ける。	小論文を指定の形式で書ける。	小論文を提出できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第2学期開講。 検定教科書を用いて、評論文を重点的に読むことで、論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、思考する力を高めていく。 原稿用紙の使い方を学び、文章を書く力を付けるために、書写を課題にする。 小論文を書く。				
授業の進め方・方法	教科書本文の読解をし、内容理解の確認のために口頭試問を行う。 応用として、評論文の読解演習を行う。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として「演習問題」と「レポート」を課している。				
注意点	教科書とノートを忘れずに持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができず、口頭試問点が減点になる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 評論①	「南の貧困/北の貧困」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる。 ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる。 ・指示語の指示内容を説明できる。 ・キーワードを説明できる。 ・トピック・センテンスとトピックを理解できる。 ・筆者の意見を要約できる。	
		2週	評論②	「南の貧困/北の貧困」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる。 ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる。 ・指示語の指示内容を説明できる。 ・キーワードを説明できる。 ・トピック・センテンスとトピックを理解できる。 ・筆者の意見を要約できる。	
		3週	評論③	「南の貧困/北の貧困」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる。 ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる。 ・指示語の指示内容を説明できる。 ・キーワードを説明できる。 ・トピック・センテンスとトピックを理解できる。 ・筆者の意見を要約できる。	
		4週	評論④	「南の貧困/北の貧困」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる。 ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる。 ・指示語の指示内容を説明できる。 ・キーワードを説明できる。 ・トピック・センテンスとトピックを理解できる。 ・筆者の意見を要約できる。	

2ndQ	5週	評論⑤	「南の貧困／北の貧困」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構造が重要であることが理解できる。 ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる。 ・指示語の指示内容を説明できる。 ・キーワードを説明できる。 ・トピック・センテンスとトピックを理解できる。 ・筆者の意見を要約できる。
	6週	表現①	課題文を読解した上で、小論文を書くことができる。
	7週	表現②	課題文を読解した上で、小論文を書くことができる。
	8週	定期試験	
	9週	試験返却・解説	試験解説により、問題の解き方を理解する。
	10週		
	11週		
	12週		
	13週		
	14週		
	15週		
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	レポート	口頭試問	合計
総合評価割合	60	10	20	10	100
知識の基本的な理解	40	5	10	5	60
思考・推論・創造への適用力	20	5	10	5	40